



Title	その学術誌、大丈夫？
Author(s)	井出, 和希; 中山, 健夫
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/94925
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

その学術誌、大丈夫？

Think. Check. Submit.
日本語版はこちら



check point

◀◀◀◀ 高リスク

低リスク ▶▶▶▶



査読

査読が行われていないか不適切であり、論文の採択プロセスを偽っている

- 論文を受け付けてから査読を経て掲載するまでのプロセスが明確ではないこともある
- すでに掲載されている論文が掲載までにどのくらい時間を要しているか見てみよう(全く情報がないこともある)



組織

編集委員会がないor虚偽である

- 勝手に名前を使われて困っている研究者のエピソード等がウェブ上にある?
- 知り合いの名前があれば、本当か聞いてみてもいいかも



出版費用

出版費用に関する情報を隠している



運営

索引（インデックス）への収載や出版関係団体への所属についての虚偽がある

- 索引（インデックス）や団体について実際に調べてみると…?
- Think. Check. Submit.(右上)も参考に



編集

運営方法が違法である可能性がある



組織

他の学術誌やウェブサイトを模倣している

十分なアーカイブがない

- 学術誌の名前は違うのに、どこかでみたことのあるデザイン?

適切な形で行われていない

- 掲載論文を実際にみて知っている他の学術誌と比較してみよう

質が低い

- 査読レポートが公開されていたら、実際に見てみよう
- 掲載論文から自分で批判的に吟味できそうなものをいくつか読んでみよう
周りの人たちと一緒に考えてみるのも一手

厳密に行われている

編集委員会が機能していない

- そもそも専門分野が全然マッチしていないことも…
- 並んでいる研究者のプロフィール情報とも比較してみよう
- 学術誌の対象分野とマッチしていて、嘘がなければ安心
- 不可解な論文が載っていたり、学術誌の対象とする分野とかけ離れた論文が掲載されていたりしない?

優れた編集委員会がある

出版費用が不透明である

- 掲載費用で儲けることが主な目的かも

出版費用が明確に示されている

- 投稿時や掲載時にいくら支払う?

一般的ではない and/or 偽のインパクトファクターを使用している

勧誘方法が強引かつ無差別的である

- スパムメールのようなしつこい勧誘はない?
ウェブ上でそのような事例が報告されていないかも調べてみよう

時折、疑わしい(略奪的な)行為に加担することもあるが、批判に対し適切に対応している

- 過去に何かトラブルがあったときの出版社の対応について調べてみると?
- 対応が不明な場合は要注意!

著者やアカデミー向けのサービスがないor不十分である

研究の公正さを保証し、論文を撤回できる強固なシステムがある

- 投稿規定を参考に、公正さについてみてみよう
- 撤回の仕組みについて、過去の事例もみながら確認しよう

制作: 井出和希^a*中山健夫^b

^a 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門
社会技術共創研究センター(ELSIセンター) 実践研究部門
静岡県立大学法人

^b 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野
医学部付属病院倫理支援部
* ide-k@cider.osaka-u.ac.jp, ide.kazuki.2r@kyoto-u.jp